



日本スーパーマーケット協会

平成25年4月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	48,583,146 万円	100.0%	100.2% (101.4%)	46,747,513 万円	98.1% (99.4%)
食 料 品	40,561,520 万円	83.5% (81.6%)	100.5% (101.1%)	39,036,995 万円	98.2% (98.8%)
農 産	5,972,065 万円	12.3% (12.2%)	96.7% (97.4%)	5,748,335 万円	94.5% (95.2%)
水 産	4,043,265 万円	8.3% (8.2%)	101.7% (100.5%)	3,889,588 万円	99.1% (98.0%)
畜 産	4,673,586 万円	9.6% (9.2%)	103.0% (103.3%)	4,491,726 万円	100.5% (100.6%)
惣 菜	4,214,462 万円	8.7% (8.9%)	100.9% (103.3%)	4,059,271 万円	98.4% (100.8%)
日配食品	9,128,345 万円	18.8% (17.8%)	101.2% (101.1%)	8,782,426 万円	99.0% (98.8%)
加工食品	12,529,797 万円	25.8% (25.3%)	100.3% (101.6%)	12,065,649 万円	98.2% (99.4%)
生活関連	3,335,335 万円	6.9% (6.9%)	100.7% (102.2%)	3,140,270 万円	99.0% (100.7%)
衣 料 品	1,625,944 万円	3.3% (4.9%)	94.7% (104.1%)	1,591,602 万円	93.8% (105.9%)
そ の 他	3,060,347 万円	6.3% (6.7%)	98.5% (102.9%)	2,978,646 万円	98.9% (102.8%)

② 数 値

全店総売上高	48,583,146 万円	店 舗 数	4,397 店舗
総売場面積	8,539,566.6 m ²	総従業員数	224,068 人

店舗平均月商	11,049.2 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,789 円 (99.1%)
月間m ² 売上(前月)	5.7 万円 (5.9 万円)	平均店舗面積	1,942.1 m ²
月間坪売上(前月)	18.8 万円 (19.7 万円)	パート比率(前月)	76.8% (77.1%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 4月は、昨年より日曜日の営業日数が1日少なく、前年同月比を下回った。また、花見需要の前倒しも影響した
- ・ 前半の天候不順に、週末の強風・雨の影響で厳しい売上となった。また、気温があまり上がらなかったことにより、涼味商材の動きが鈍く、下旬ではスープやシチューなどのホット商品が動いた

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 野菜は、前半の相場安の影響で苦戦したが、中旬より相場が持ち直し上昇も4月トータルでは不調だった
- ・ トマトは昨年好調の裏返しで、厳しい売上状況だった
- ・ 果物では、バナナ需要期に入り、産地の悪天候が続き、品薄による高値の影響から売上は伸び悩んだ。グレープフルーツも品薄による高値の影響で売上は伸び悩んだ

○ 水産

- ・ ホタルイカの水揚げ状況が悪かった影響で相場が高騰し、売上が不振だった。また、さわらも水揚げ状況が悪く、相場が高騰し、売上が不振だった
- ・ 昨年水揚げが不漁だったアジやカツオの潤沢な水揚げにより売上は好調だった

○ 畜産

- ・ お祝いメニューでの焼肉需要が好調に推移し、牛肉の売上を押し上げた。また、気温が低めに推移したことも牛肉好調の要因となった
- ・ 気温の低い日が続いた上旬では、豚肉のしゃぶしゃぶ用や鍋物需要としての動きは良かった
- ・ 昨年好調に売上を伸ばした鶏肉は、厳しい状況となった

○ 惣菜

- ・ 花見需要の前倒しの影響から前半戦は苦戦した
- ・ 入園、入学のお祝いメニューの赤飯、寿司の動向は良かった
- ・ 行楽時期に伸長する米飯類は、好調に推移した。また、丼類の動きも良かった
- ・ 気温は低かったが、サラダ類の動向は良かった

○ 日配・加工食品

- ・ 全体的に気温が低く、涼味商材は苦戦した
- ・ ヨーグルトは依然好調に推移した。特に、ドリンクタイプは伸長した
- ・ O-157の影響が依然続き、漬物類の売上は不調のまま回復の兆しが見えない
- ・ 前年のトマトブームによるトマトジュース需要の反動で、果汁飲料の売上が伸び悩んだ
- ・ 袋麺などの即席が好調に推移した
- ・ オリーブオイルは、TVでの健康効果について取り上げられ、需要が急増し大きく伸長した
- ・ 野菜の相場安の影響から、冷凍食品の野菜類の動向が不調だった

○ 「行楽」について

- ・ 冷凍食品のお弁当材料の動きが良かった。また、塩干の鮭や魚卵なども好調な動きだった
- ・ おつまみ、お菓子類の動きが良く好調だった
- ・ 気温が低く、飲料、ビールなどの動きが不調だった

○ 「ゴールデンウィーク」前半について

- ・ ゴールデンウィーク前半では、牛肉の焼肉を中心とした動きが良く、売上が好調で既存店前年比に寄与した。また、豚肉の焼肉商材の動向も良かった
- ・ いちご・アメリカンチェリーなど全般的に好調で、気温が低く昨年好調だったスイカは不調だった

以上